

# 木造門型フレーム

木造大開口・大空間の住まい



「新工法性能認証」取得

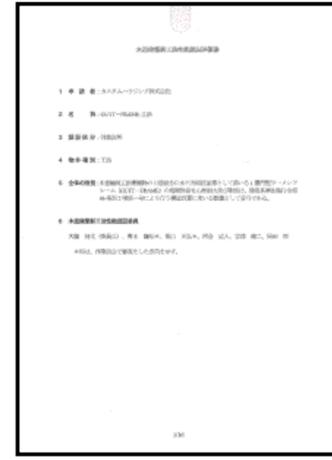
(公財) 日本住宅・木材技術センター

本門型フレームは、  
 公益財団法人  
 日本住宅・木材技術センターの  
 性能認証を取得した工法です。  
 [認証日 平成29年1月30日]

認証番号：新工法NSK13a1



認証書



性能評価書



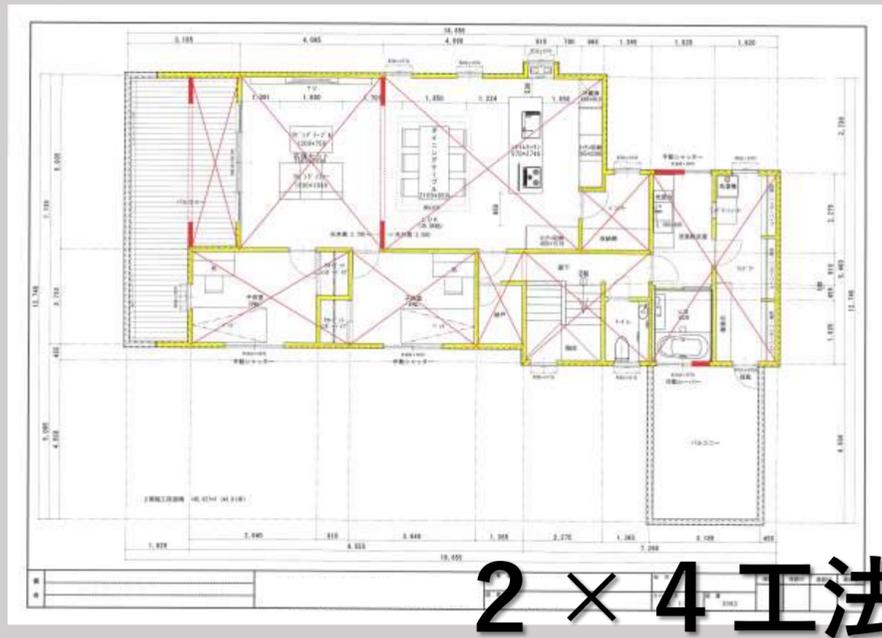
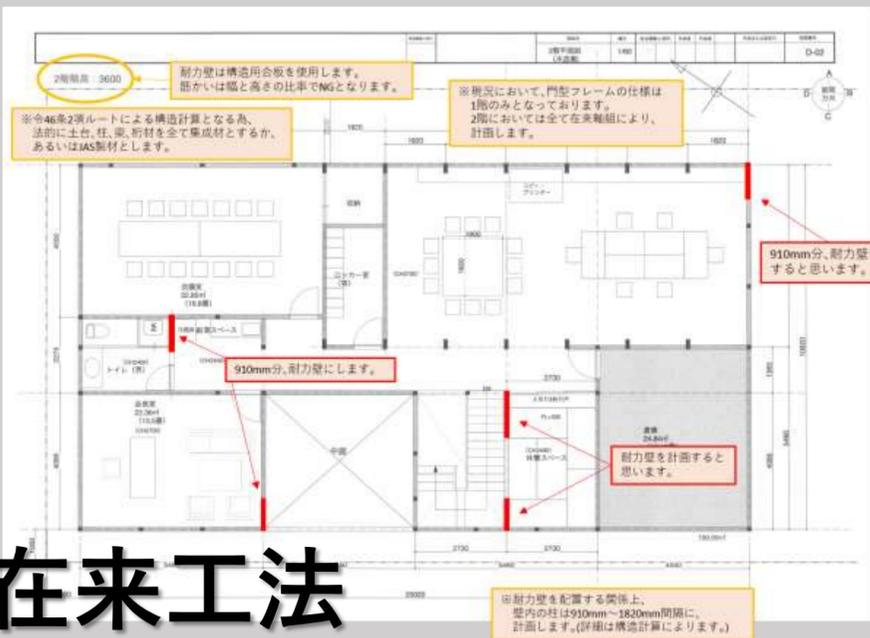
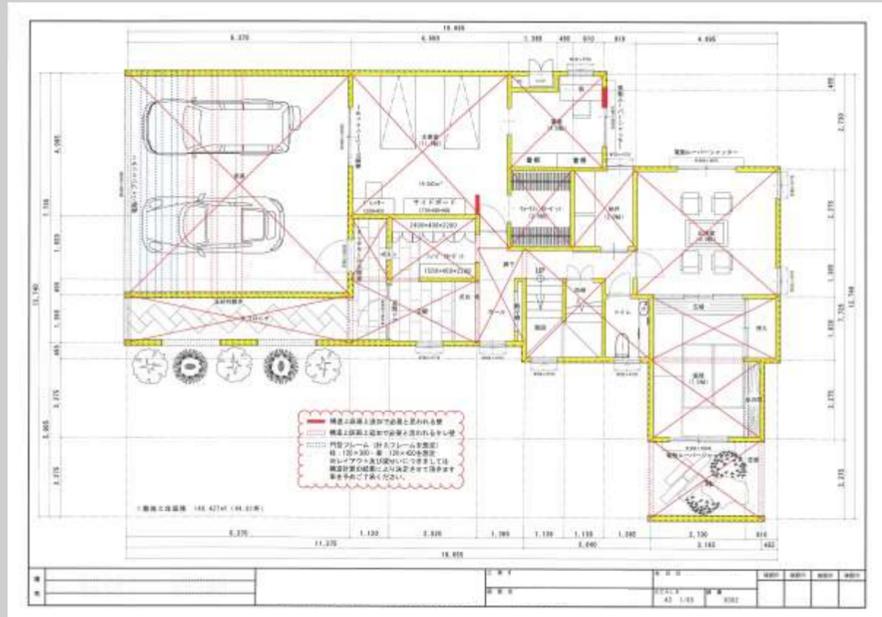
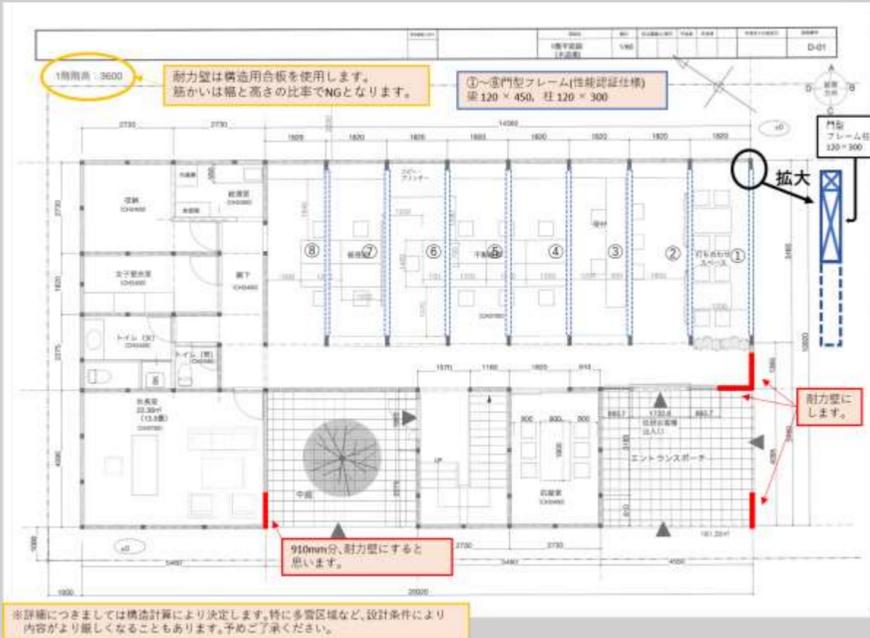
実大実験で  
 驚異の強度を実証！

安定した水平耐力  
 と  
 ねばり強さを発揮。



●プランチェック図面

お送り頂いた図面で、門型フレームの配置・本数を算定します。



在来工法

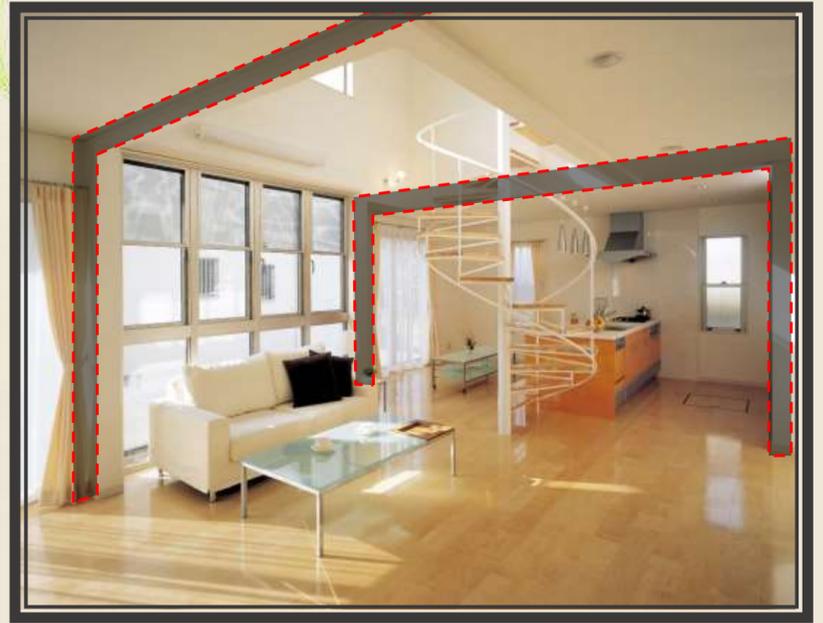
2×4工法

大開口・大空間に安全を確保した

# 「木造門型フレーム」

高精度の集成材とオリジナル金物を組み合わせた「木造門型フレーム」工法は、壁全面の床から天井まで届く大開口や間仕切りのない大空間を実現。

南面からたっぷりの採光、庭と一体となった広々リビング、高天井、吹き抜け、ビルトインガレージまで思い描く自由な夢の空間を可能にしています。



〔 広さ27畳のLDKを実現 〕

## ●門型フレームの特長

大空間・大開口の確保！

狭小地プランに最適！

耐震補強  
リフォーム  
車庫増築に最適！

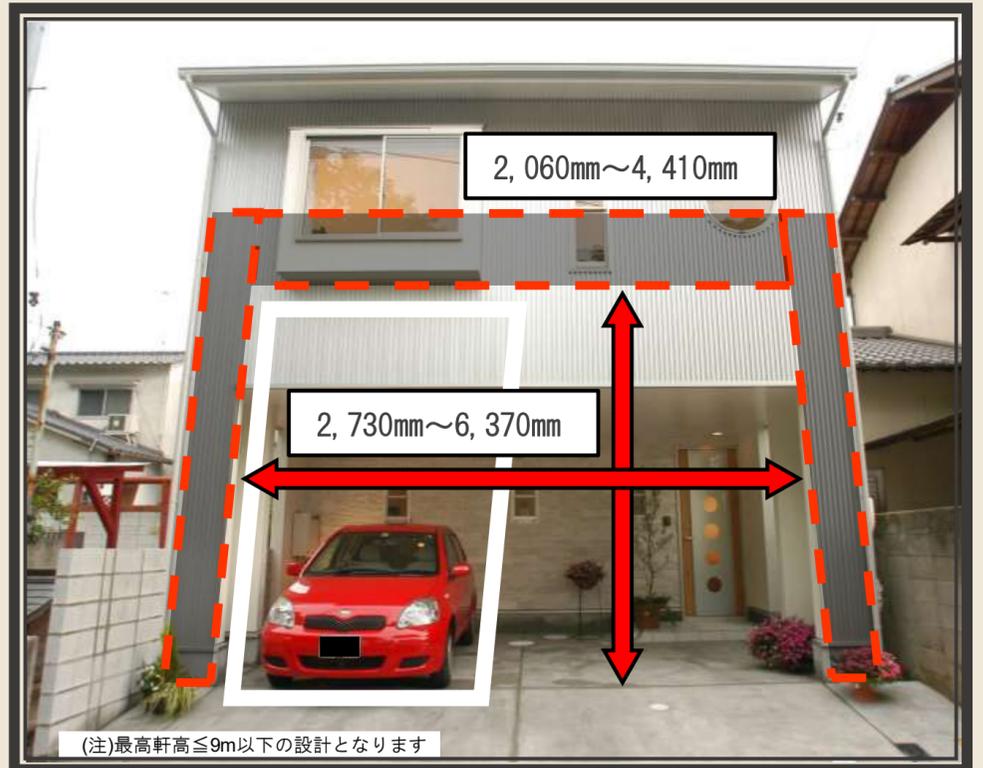
- ・大広間、車庫、店舗、事務所やスケルトン&インフィル住宅がプランニング可能。
- ・和風住宅の大きな広縁開口部、吹き抜け、2台車庫など大開口が可能。
- ・必要な個所に1フレームから採用可能。

- ・狭小地プランの通路面における大開口・大空間を確保。
- ・1階をS造やRC造にしていた建築物を木造3階建てとして建築が可能。
- ・基礎工事は従来通りの施工が可能なので、地盤改良・地中梁設置などの追加工事が発生しにくくなる。

- ・リフォームにおける大空間確保(大広間、車庫など)のための耐震補強が可能。
- ・現在の建築基準に適合しない建物の耐震、耐風補強に威力を発揮。
- ・鉄骨やRC造との混構造に比べて全木造なのでコストパフォーマンスが高い。

## ●門型フレームの仕様

柱・梁サイズ	柱	120mm×300mm
	梁	120mm×360mm
	梁	120mm×450mm
スパン		2,730mm~6,370mm
高さ		2,060mm~4,410mm
負担荷重		14.4kN



(注)最高軒高≤9m以下の設計となります

## ●採用可能な工法

在来工法・2×4工法

	1層(階)フレーム	2層(階)フレーム	3層(階)フレーム	基礎	集成材
在来工法	○	×	×	べた基礎 (通常の基礎工事)	E105・F300以上 (JAS規格)
2×4工法	○	×※	×※	べた基礎 (通常の基礎工事)	E105・F300以上 (JAS規格)

※2×4工法の2層・3層フレームについては、現在まだ認められておりません。

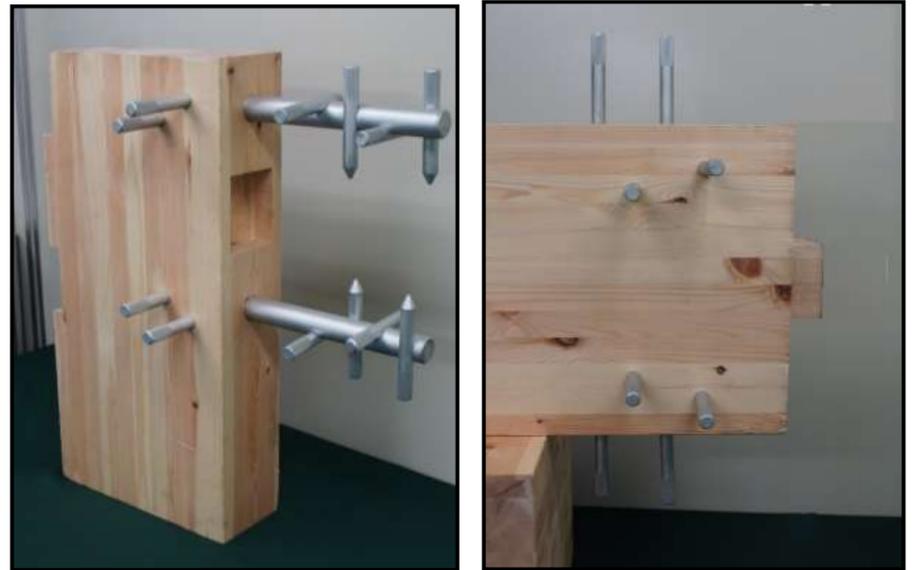
## ●専用金物

### 柱脚金物



直接基礎アンカーボルトと接合された柱脚ボックス部分は、強靱で信頼性の高い柱脚構造を提供し、耐力壁に代わるフレーム強度を実現しています。

### 柱梁金物



フレームの柱と梁の接合部分は、木部ホゾと特殊丸棒金物はドリフトピンで固定され耐力壁に代わるフレーム強度を実現しています。

## 構造計算も対応します。 強度と安全性を実証！

一棟一棟それぞれに、建物全体に対して建築基準法施行令第82条に示す許容応力度設計法に基づく構造計算を行い、強度と安全性を検証。万全の体制で、安全で信頼される住宅を供給いたします。

## ●施工手順



(1) 基礎アンカーボルト  
設置位置確認



(2) 搬入時状態 柱・梁材



(3) 搬入時状態 梁



(4) 柱頭部組立  
柱・梁材 差込



(5) 柱頭部組立  
ドリフトピン打ち込み



(6) 柱頭部組立  
ドリフトピン打ち込み完了



(7) 柱頭部引き寄せボルト  
締め付け



(8) 柱頭部引き寄せボルト  
完了



(9) 組立完了

お問い合わせは

石原ホームコンポーネント株式会社

421-0304  
静岡県榛原郡吉田町神戸4307-11  
TEL 0548-34-0555  
FAX 0548-34-0557

開発元

カスタムハウジング株式会社

532-0011  
大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪トヨタビル10F  
TEL 06-6309-1131  
FAX 06-6300-5802